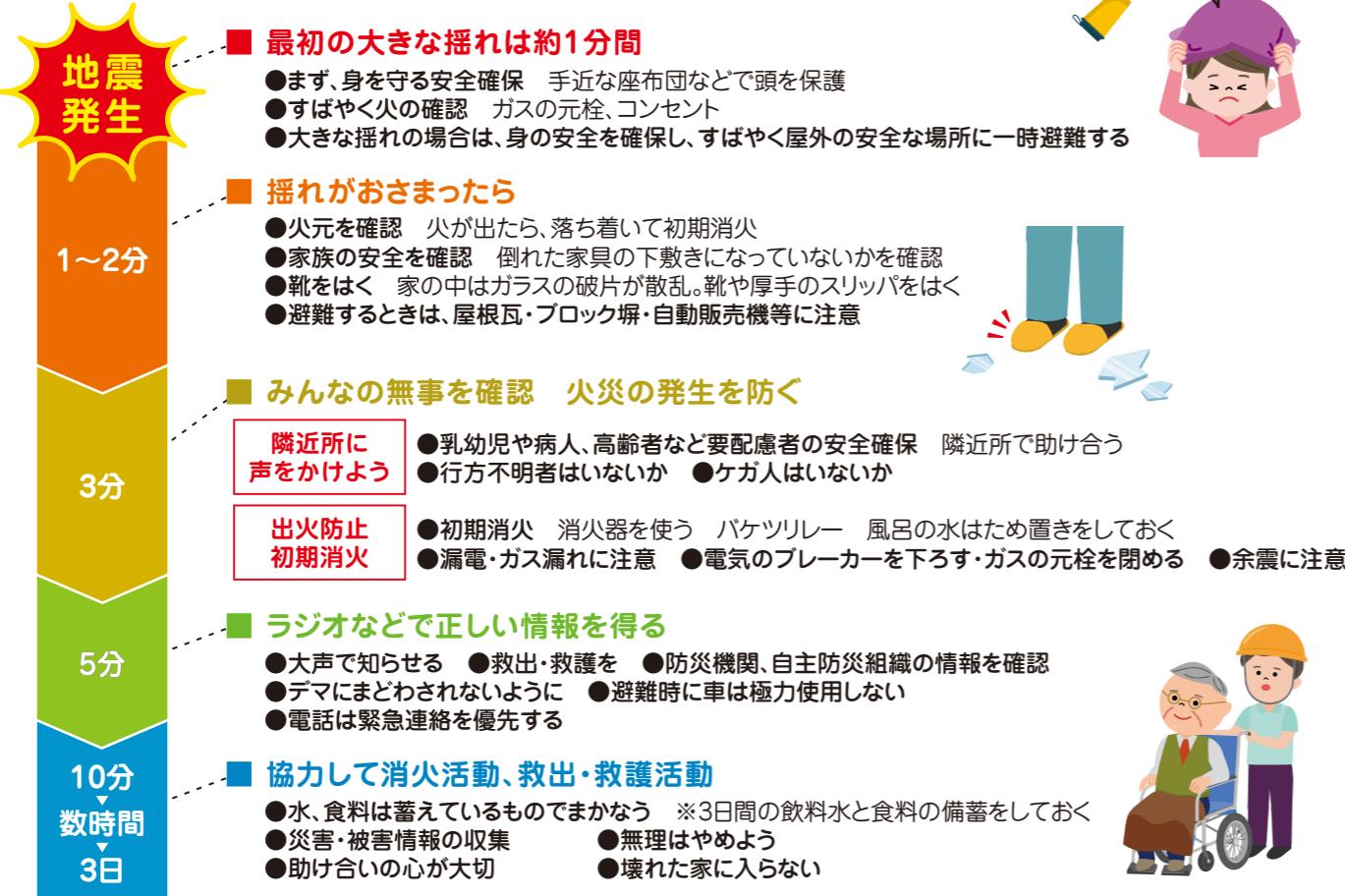
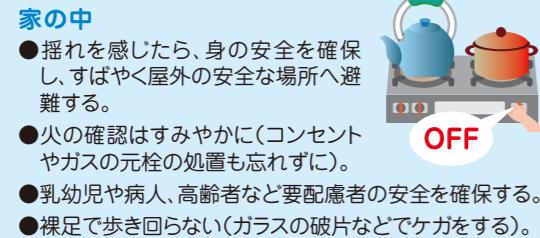


地震

地震発生時の時間経過別行動マニュアル



■ 屋内にいた場合



集合住宅

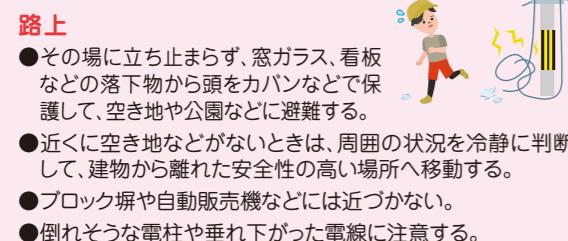
●ドアや窓を開けて避難口を確保する。避難にエレベーターは絶対に使わない。炎と煙に巻き込まれないように階段を使って避難する。



劇場・ホール

●カバンなどで頭を保護し、座席の間に身を隠し、係員の指示を聞く。●あわてずに冷静な行動をとる。

■ 屋外にいた場合



車を運転中

●ハンドルをしっかりと握り、徐々にスピードを落とし、緊急車両などの通行スペースを確保し、道路の左側に止め、エンジンを切る。

●揺れがおさまるまで冷静に周囲の状況を確認して、カラーラジオ等で情報を収集する。

●避難が必要なときは、キーはつけたまま、ドアロックもしない。車検証などの貴重品を忘れずを持ち出し、徒步で避難する。



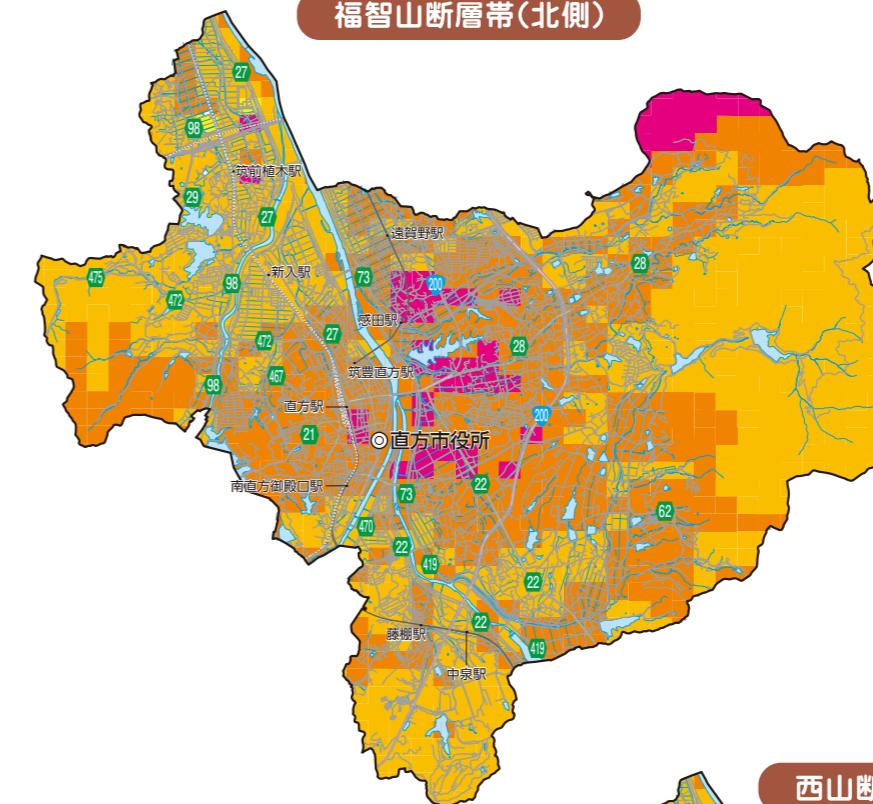
海岸付近

●高台へ避難し津波情報をよく聞く。
注意報・警報が解除されるまでは海岸に近づかない。

震度分布図

地震による犠牲者の多くは、地震発生直後の建物倒壊や家具の転倒によるものです。皆さん自身が「自分の身は、自分で守る」、「自分たちの地域は、自分たちで守る」と考え、地震に備えることが必要です。

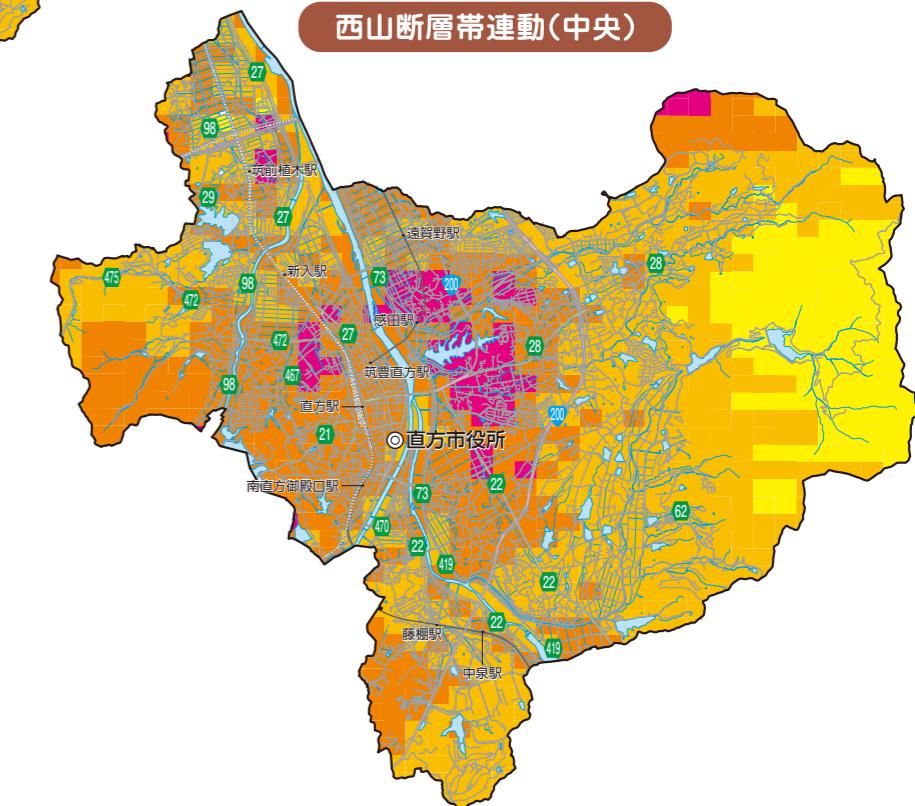
福智山断層帯(北側)



震度分布図とは、実際に観測された震度を基に、震度計のない場所での震度を推計し、震度の面的な分布を表現したもので

地表で観測される震度は、軟弱な地盤では揺れが大きく、固い地盤では揺れが小さいなど、地面表層の揺れやすさの影響を大きく受けます。

西山断層帯運動(中央)



災害凡例

地震
■ 震度6強の地域
■ 震度6弱の地域
■ 震度5強の地域
■ 震度5弱の地域

出典：「福岡県地震に関する防災アセスメント調査報告書 令和7年9月」